

評価のポイント

CL-3.リーダーシップとマネジメント能力 [78-3] 看護チームとチームビルディングの基本

以下の事例に対するチームビルディングのポイントを、チームビルディングの4つの要素とチームビルディングを行う際のポイントを参考に、リーダーが期待する会にするためのチームビルディングについて考えてみましょう。

あなたは帰属看護単位の業務改善委員会（係、担当チームなど）のリーダーを任されています。来週、その会の話し合いを開始時刻17時30分から帰属病棟の看護休憩室で行うことを予定しています。通常の会では、発言するのはリーダー役のあなたがほとんどで、他のメンバーからの発言は「これでよいですか」というあなたの問いかけに「うなづく」だけの場面が多く見受けられます。また、会には看護師長も出席して、時折ですが看護管理的な立場から、あなたからの提案に対して、どちらかというと相対的に否定的（〇〇はできないよ。〇〇は難しいと思うよ、など）な意見であり、メンバーの中には会の最中に居眠りしているメンバーもいます。リーダー役のあなたは、この会を皆が楽しく参画して、活発に意見交換をできるようにしたいと考えています。

チームビルディングとは、人々が主体的にスキルや能力を発揮しながらチームが共通目標（ゴール）に向かって進んでいくためのチームづくりである。その際、

- ①活動の枠組み：明確なチーム目標設定とその意味の共有、チームの明確な目標ややるべきことは共有できているか？
 - ②メンバーの役割の明確化、各自が提案者であることが認識されているか？
 - ③場と環境、カジュアル（気軽）な雰囲気、リラックスできる場と環境が提供されているか？進行やアクティビティに対応した場と環境の設定になっているか？
 - ④関係性（多様な価値観の容認）、各自の考え方をリーダー、メンバー同士が理解し、上下の関係もなく自由な意見交換が保障されている前提にあることが共有されているか？
- などを探り、これらの設定、提供をすることが考察されることが期待される。

本事例においては、リーダー役割のあなたが一方的に進めている可能性があり、また、話し合う内容とその進行の仕方なども共有していない可能性もある。また、メンバーの役割は明確化されているのか、つまり、メンバー自身の考えを表明できるような立てつけになっているのか、さらには、看護師長の同席と一方的なネガティブな意見についてどう考えるのか、関係性に関しては、話し合いが協同作業のような立てつけにする必要があるかどうかも考えてよい。場と環境は、会議する場と環境として適正かどうかなど考えてよい。